

茨城県国際理解教育推進協議会
会長 石川 哲夫 殿

ワールドキャラバン国際理解教育実施報告書

学校名 小美玉市立玉里小学校 担当教諭名 萩原達夫

「ワールドキャラバン」国際理解教育については、下記のとおり実施しましたので報告します。
記

実施日時	平成21年10月30日(金) 9:30 ~ 13:00
対象学年と人数	1~6年 239名(9クラス)
派遣講師名と出身国	・ アトラ・アルデカニ(オーストラリア) 木下千恵(パラグアイ)
活動の内容	木下千恵さん ・ 自己・パラグアイの紹介 ・ パラグアイについて勉強しよう カードを使ってスペイン語の1~10を紹介 スペイン語の数字に合わせてグループ作りをする スペイン語を使ったじゃんけん ハッピーバースデーの歌をスペイン語で歌う アトラ・アルデカニさん ・ 自己・オーストラリアの紹介 ・ オーストラリアについて勉強しよう オーストラリアの形を作ろう(全員が手をつないでオーストラリアの形になる) おおかみさん今何時?(だるまさんが転んだのようなゲーム) Stuck in the mud(鬼ごっこのようなゲーム) 質問タイム
コーディネーター	会田早苗
生徒・保護者等参加者の感想	今日オーストラリアから来たアトラさんと、オーストラリアについて勉強しました。オーストラリアは今、夏なのでクリスマスは夏にやるそうです。日本とはちがってピクニックなどをするそうです。それから「おおかみさん、今何時?」というゲームもしました。とても楽しかったです。(児童) 僕が一番おどろいたことは、北の方にある川には、ワニがうようよいることです。二番目におどろいたことは、くちばしが青いカモノハシです。見てみたいなあと思いました。オーストラリアのことがよく分かってよかったです。(児童) 今日は、木下さんからパラグアイについていろいろ教えてもらいました。私はパラグアイがどこにあるか知りませんでした。地図で教えてもらって分かりました。パラグアイではスペイン語を話しているそうです。スペイン語の1から10までを教えてもらってゲームをしたりしました。それから、パラグアイのお菓子をごちそうになりました。とてもおいしかったです。(児童)
先生の感想	本年度のワールドキャラバンは、学年単位(40名程度)で実施しました。昨年度までの複数の学年での実施に比べてアットホームな雰囲気を実施することができました。お二人の講師の方もとても熱心に準備をして下さり内容の濃い学習をすることができました。特に、「オーストラリアの動物の話」や「パラグアイのお菓子」は子どもたちの印象に強かったようです。また、コーディネーターの会田さんには何度も打合せに来ていただいたり、講師の方と連絡を取っていただくなど大変お世話になりました。ありがとうございました。

